

○ 多くの県民の理解と共感を得ながら、**環境負荷の低減と収益性の向上の両立**に取り組む「**とちぎグリーン農業**」をオール栃木体制で推進し、**環境と調和のとれた持続可能な農業生産の実現**を目指す。

【作成主体】 栃木県及び県内全25市町

【計画の主な目標（R9）】

- ・ 環境負荷低減事業活動実施計画の認定数：7,500件
- ・ 家畜排せつ物を原料とした堆肥等の流通割合：55%
- ・ 有機農業の取組面積：900ha

【取組のポイント】

- ・ 県内に豊富にある堆肥やもみ殻などの地域資源を生かした取組や、エシカル消費など消費者意識の変化に着目した取組を推進
- ・ 県段階、市町段階に協議会を設置し、オール栃木体制で推進
- ・ 生産から消費の各段階で、優先的に進めるべき取組をパッケージ化した重点プロジェクトを設定

【特定区域の設定】

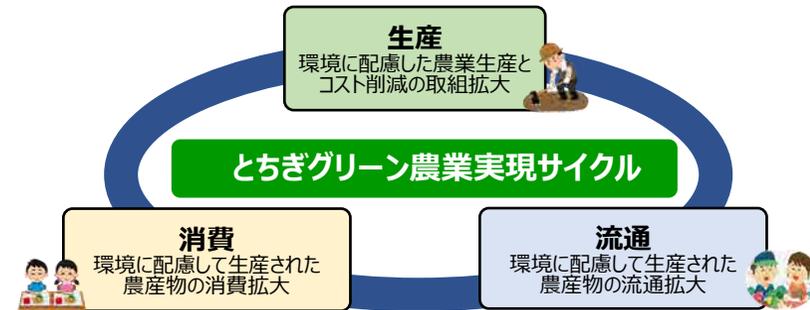
<塩谷町上寺島地区、烏羽新田地区>

有機稲作の研修会の実施や有機米の学校給食等への提供を通じて、地域の有機農業の団地化を推進

<野木町若林地区、佐川野地区、川田地区>

NPO法人民間稲作研究所と連携した有機栽培の技術講習や、町内小中学校給食での利用拡大による有機農業の取組拡大

【10年後の目指す姿】



【とちぎグリーンUPプロジェクト】

〈とちぎの特徴〉



〈取組の方向〉



PROJECT 1

広大な水田を最大限に活用する

⇒水田を中心とした持続可能な生産システムの確立

PROJECT 2

豊富な有機資源を存分に生かす

⇒平場から中山間まで地域の特徴を生かした有機農業の拡大

PROJECT 3

化石燃料を使用する施設園芸の脱炭素化を進める

⇒とちぎの脱炭素型次世代施設園芸の推進